

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-30	小学校	算数	算数	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 108	わくわくさんすう1		

1 編修の基本方針

現在の社会では、グローバル化の進展や継続的な技術革新などにより急速な変化が進んでおり、その中では、様々な知識を整理・統合して理解する力が必要です。また、国際的な学力調査(PISA、TIMSSなど)の結果によると、算数・数学の学力は上位に位置していますが、引き続き学習意欲面では課題があります。

このような社会・時代での自立の基礎となる資質・能力を培う視点から、全国学力・学習状況調査等での結果も含めた学習での課題を踏まえ、次の3点を編修の基本方針としました。



表紙

① 生活していく上で、基礎となる数学的知識・技能を習得できる教科書

② 筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する力をつけることができる教科書

③ 新しいものごとを理解し、創造する能力と主体的に学習する態度を養うことができる教科書

さらに、「学びをつなげる」という視点で、教科書の素材・展開を見直し、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫するとともに、教えやすく学びやすい教科書を目指しました。

1 生活していく上で、基礎となる数学的知識・技能を習得できる教科書

(1) 幼保小の連携

1年生の教科書では、「学びをつなげる」という視点から、巻頭「わくわく すたあと」(表紙裏-p.17)を特にスタート・カリキュラムに対応したページと位置づけました。幼児期からの体験を振り返って算数の素地につなげたり(幼保小連携)、小学校算数への期待を高めたりすることで、子どもたちが主体的に自己を発揮しながら、小学校での生活をスタートできるように工夫しています。



表紙裏-p.1

(2) 基礎的・基本的な内容の定着

1年生の初めでは、まずは数の数え方や数字に慣れさせたり、いろいろな形について調べたりしながら、基礎的な知識を学んでいけるような展開にしました。また、教科書の構成としては、発達段階を考え、単元を細かく分けて、飽きずに無理なく学習できるようにしています。

各単元については、1年生では基本的にすべて一斉問題(1, 2などの問題)で構成し、みんなで一緒に考えて学習を進めていくことができるようにしています。

また、数字や記号のかき方をていねいに説明し、かく練習もできるようにしています。(p.10, 14, 42など)

(3) 身のまわりの事柄や生活と算数とのつながり

児童が親しみをもって取り組めるよう、1年生では基本的にはすべての単元で身のまわりの事柄を題材として導入しています。(p.82, 144など)

また、学習したことを日常にもどしたり、活用したりするような場面を紹介しています。(p.15, 139など)



p.15



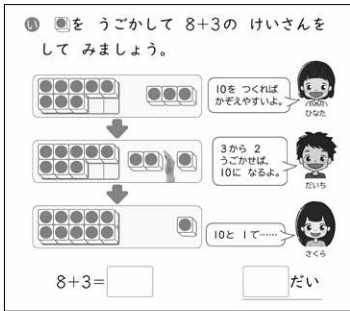
p.82

② 筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する力をつけることができる教科書

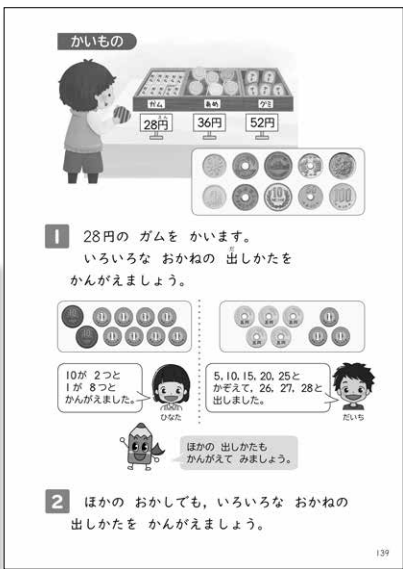
(1) 筋道を立てて考えたり、多様な考え方に触れたりする場面の充実

多様な考え方に触れられる場面を充実させ、友だちの考えと比べたりすることで、主体的・対話的で深い学びが実現できるようにしました。(p.139など)

また、繰り返り上がりのあるたし算、繰り返り下がりのあるひき算では、子どもの吹き出しをていねいに示し、計算のしかたを筋道立てて考えていけるようにしました。(p.95, 111)



p.95



p.139

③ 新しいものごとを理解し，創造する能力と主体的に学習する態度を養うことができる教科書

(1) 数学的活動を通して創造する力の育成

箱や缶を使って，児童が作りたと思ったものを組み立てていく活動を取り上げています。児童が主体的に活動する中で，箱や缶の形の特徴を活かせることに気づき，数学的な見方を獲得していける場面となっています。(p.31)

また，絵を見て，式から問題(お話)や絵本をつくる題材を用意し，式の意味の理解とともに**創造性を育む**ことができるようにしています。(p.60-61)



p.31



p.60-61

(2) 学習の『めあて』を明示

1年生の一部の単元の学習内容でも，学習の『めあて』を記載しました。児童自らが目的意識をもって**主体的に学習を進められる**ように，2年生以降の学習の進め方につながるようにしています。(p.94,110)

めあて



p.94

(3) 単元末『ふりかえろう』等による学習の振り返り

単元末の『ふりかえろう』では，その単元の学習で「わかったこと」，「楽しかったこと」を振り返る場面を設け，**学びに向かう力・人間性等の向上**を確認することができるようにしています。(p.77, 103, 121など)

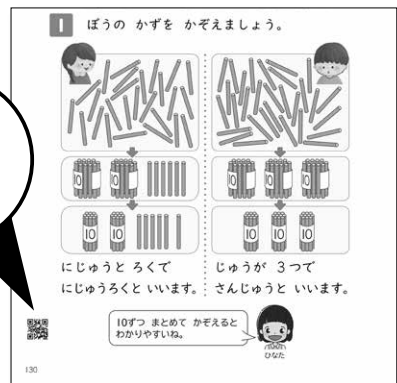
また，学年末(p.167)には，1年間の学びを振り返る子どもの吹き出しを示し，2年生以降の学習へつながりをもたせています。

(4) 児童の主体性を促すICTの活用

教科書紙面に，QRコードを掲載し，学習内容と関連する参考情報をスマートフォンやタブレットでデジタルコンテンツとして閲覧できるようにしました。

単元の入口で学習に入る準備ができるものや，単元の出口で学習した内容の確認ができるものも用意し，家庭で**主体的に学習する**際の参考にもなるようにしています。

(p.93, 102, 130など)



p.130

2 対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>第1号</p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<p>▶問題設定では身近な題材を利用するなどして、子どもが自ら学習に取り組めるようにしました。</p>	全体
	<p>▶学習内容に関する事柄や別の見方、及び少し進んだ内容をコラムとして掲載して、幅広い知識を身につけたり、真理を求める態度を養ったりすることができるようにしました。</p>	p.15, 92, 99など
<p>第2号</p> <p>個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<p>▶箱の形を見てキリンや車の形をイメージしたり、絵を見て問題(お話)をつくったりする題材をもとに、児童が創造性を育める課題を用意しました。</p>	p.30-31, 60-61など
	<p>▶生活との関連を重視し、生活の中から課題を見つけたり、算数を利用して身のまわりの問題を解決したりする場面を設定しました。</p>	p.139, 160-161など
<p>第3号</p> <p>正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>▶挨拶や整理整頓、整列などの様子のイラストを用意し、社会のルールを確認できるようにしました。</p>	p.4, 6, 124など
	<p>▶紙面デザインや配色にあたっては、個人差を問わず、より多くの人に必要な情報が伝わるよう配慮しました。</p>	全体
	<p>▶性別による役割を固定せず、児童一人ひとりが他人を尊重しながら、互いに協力し、学習を進めていけるよう配慮しました。</p>	p.31, 39など全体
<p>第4号</p> <p>生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>▶題材に生物、植物などを取り上げることによって、身近に感じるとともに、生命を尊ぶ精神を養えるようにしました。</p>	表紙裏、 p.15, 156-157など
<p>第5号</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>▶折り紙、童話、紙芝居、金魚すくい、すごろくなどの題材を取り上げ、伝統と文化にも触れられるよう配慮しました。</p>	表紙裏、 p.43, 119, 156, 174-175など

3

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

児童にとって学びやすく，教師にとって教えやすい教科書の構成，単元の流れにしました。

教科書の構成(単元の流れ)

1年生では，発達段階を考慮し，単元の分量を細かく分けて，飽きずに無理なく学習を進められるようにしています。また，適宜『ふくしゅう』を設けて，学習の確認ができるようにしています。

本文

1年生では，特に具体的，体験的に理解できるように，具体物を用いた活動を多く取り入れています。

学びのまとめ

たしかめよう 知識及び技能や思考力・判断力・表現力等を評価する問題を設定しました。

ふりかえろう 主体的に学習に取り組む態度を評価する問題を設定し，自身の資質・能力の高まりを確認できるようにしました。

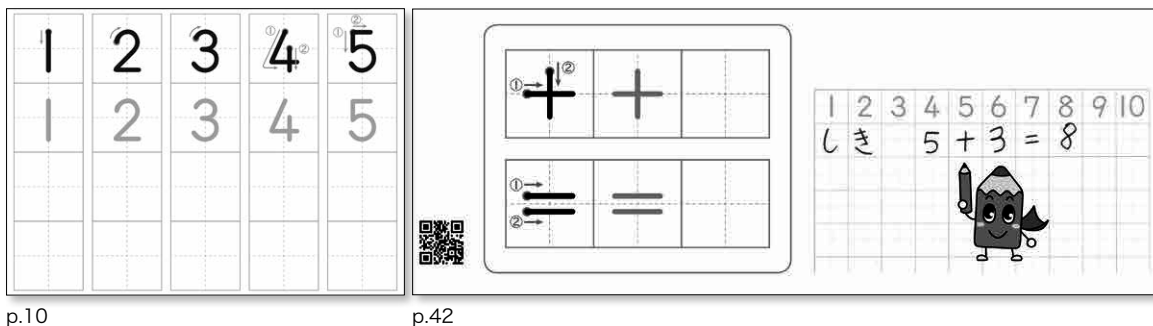
やってみよう 楽しんで取り組める補充問題を設定しました。

ふくしゅう

既習内容の定着が図れるよう適宜，復習の演習ページを用意しています。特に，各種学力調査等から判明した間違いやすい問題には★をつけています。

数字や記号のかき方

数字や記号，式などのかき方をていねいに示したり，かく練習ができるようにしたりしています。



p.10

p.42

巻頭，巻末

○巻頭に，スタート・カリキュラムに対応して，幼保小連携がスムーズに図れるような紙面を用意しました。

○巻末には，1年生の総復習として『もうすぐ2年生』，本文の練習問題を補う『けいさんのれんしゅう』，物の数え方の資料『かぞえかた』などを用意しました。

指導書

教科書をより有効にご活用いただくための資料として，朱註，解説書を用意しています。

朱註では，教科書本文の縮版を見ながら，指導の要点や補足事項などがわかるようにしています。

解説書では，より詳しい指導上の留意点を補足し，授業の準備などで活用できる内容を掲載しています。

また，授業案や板書案なども用意し，授業計画立案の資料としても利用できるようにしています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)


受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-30	小学校	算数	算数	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 108	わくわくさんすう1		


1 編修上特に意を用いた点や特色


① 「学びをつなげる」工夫

(1) スタート・カリキュラム(幼児期の体験を振り返っての導入:幼保小連携)

1年生の教科書では、「学びをつなげる」という視点から、巻頭 **わくわく すたあと** (表紙裏-p.17) を特に **スタート・カリキュラム** に対応したページと位置づけました。

 幼児期の体験を思い出し、算数の素地につなげるページ

 小学校算数の導入部分として、期待感を高めるページ

 生活場面をもとに、徐々に小学校算数の学習に慣れていくページ



表紙裏-p.1

*スタート・カリキュラムの内容について参考になる情報を用意しています。



p.2-3

p.8-9

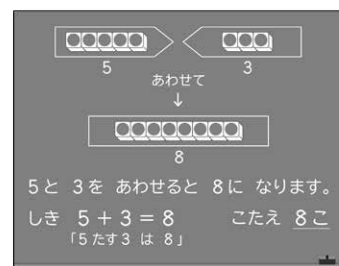
ページ内には操作の写真を例示していますので、活動内容がわかりやすく、スムーズに小学校算数の学びを始めることができます。

(2) 学習内容を明確にした紙面

黒板形式を多く採用し、児童にとっても教師にとっても学習内容がわかりやすい紙面にしました。(p.42, 45, 52など)

また、数字の書き方をていねいに示したり、操作活動の写真を多く扱ったりして、教師にとっても教えやすい構成にしています。

(p.10, 14, 31など)



p.42

② 学年の特色，つまずきの多い箇所への対応

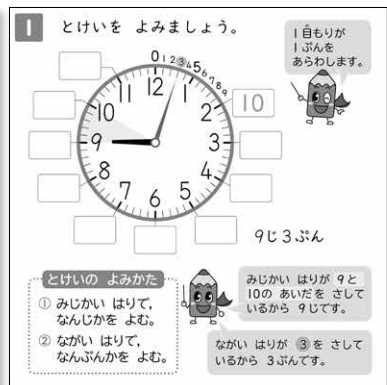
(1) 時計のよみ方

時計のよみ方について，ステップを分けて(『10.なんじ なんじはん』, 『19.なんじなんぷん』)，それぞれ手順をていねいに説明しました。(p.80-81,144-146)

なお，デジタルの時計についても扱っています。



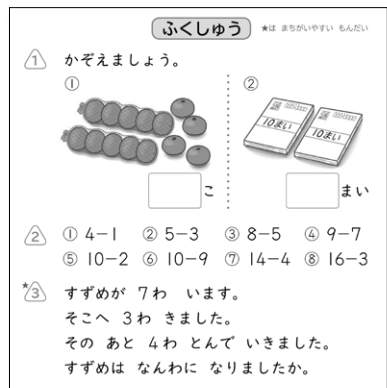
p.80



p.144

(2) 『ふくしゅう』

単元途中に適宜『ふくしゅう』を用意し，**基礎的・基本的な内容の理解と定着**が図れるようにしています。また，**各種学力調査等**から判明したつまずきの多い学習内容には，**★マーク**をつけ，間違いやすい問題だと意識して取り組めるようにしています。(p.36-37,78-79,109など)



p.109

③ 算数の有用性の実感

(1) 『まなびをいかそう』

身のまわりにある算数を見つけたり，身のまわりの問題に算数を活用したりして，算数を学ぶ意義が感じられるようにしました。(p.148-149,160-161)



p.160-161

(2) プログラミング学習

プログラミング的な思考が育めるような内容についてPマークをつけ，意識できるようにしました。(p.127)



p.127



◆観点別特色

観点	留意点	該当箇所
教育基本法、 学習指導要領の 遵守	▶教育基本法に示された教育の目標を踏まえた編集方針としています。	全体
	▶小学校算数の学習指導要領に沿った配列、内容・構成にしています。	
主体的・対話的で 深い学び	▶児童の発言の様子を吹き出しで多く示し、主体的に自分の考え方を述べられる雰囲気や紙面から感じられるようにしました。	全体
基礎・基本の 定着	▶数字や記号、式などのかき方をていねいに示しました。	p.10, 14, 42など
	▶『じゅんぴ』として、新しい単元に入る前に既習内容を振り返ることができる内容を、適宜用意しました。	p.93, 109
	▶『ふくしゅう』を適宜配置し、 基礎・基本の定着 が図れるようにしています。	p.36-37, 78-79, 109など
	▶巻末に『けいさんのれんしゅう』をおき、基本的な計算練習の補充ができるようにしました。	p.168-170
学びの見通し・ 振り返り	▶1年生の一部の単元では『めあて』を提示し、児童自らが目的をもって主体的に学習に取り組めるようにしています。	p.94, 110
	▶単元末には『ふりかえろう』を設定し、わかったこと、楽しかったことを振り返られるようにしました。	p.77, 103, 121, 143
資質・能力の 育成と 学力向上	▶様々な単元で、 思考力・判断力・表現力等 を問う問題を設定しています。	p.101, 108, 124-126など
	▶『ふりかえろう』では、わかったこと、楽しかったことを振り返って、児童自身の資質・能力の向上を確認できるようにしました。また、巻末には1年間の学びを振り返る子どもの吹き出しを示しました。 (学びに向かう力・人間性等)	p.77, 103, 167など
評価	▶単元末の『たしかめよう』、『ふりかえろう』、『やってみよう』では、児童自身の自己評価などができるようにしています。	p.102-103, 120-121, 142-143など
分量、内容・配列	▶年間配当時数は127時間とし、標準時数(136時間)よりも余裕をもたせた分量で構成しています。	全体
	▶内容の系統性とあわせて、指導時期や領域のバランスも考慮した配列にしました。	
	▶1年生では単元の長さも含めた全体を、発達段階を考慮して構成しました。	
教科の有用性	▶算数の授業の中だけでなく、学校生活や家庭を学びの場とする活動を設定しました。	p.2-15, 80-81, 160-161など
	▶『まなびをいかそう』では、身のまわりにある算数を見つけたり、身のまわりの問題に算数を活用したりして、算数を学ぶ意義が感じられるようにしました。	p.71, 103, 121など
数学的な見方・ 考え方	▶『ふりかえろう』で、学習してきた内容を整理することによって、統合的、発展的な見方・考え方が育まれるようにしました。	p.77, 103, 121, 143
	▶複数の考え方を示すことによって、数学の多様な見方・考え方を育むことができるようにしました。	p.99, 101, 139など
数学的活動の 充実	▶身のまわりから題材を見つける活動を用意しました。	p.15, 138など
	▶操作を通して学習するような題材や、ゲームや遊びなどの活動を通して内容の理解が深められる題材を用意しました。	p.31, 118, 139など
	▶算数の問題を具体的なものを用いて解決したり、確かめたりする題材を用意しました。	p.82-87, 104-108, 124-126など
	▶問題解決の際に、図や表を用いて表現する題材を用意しました。	p.63
言語能力の 育成、 言語活動の充実	▶自分の考えや活動をまとめて、発表させるような課題を用意しました。	p.35, 72, 112など
	▶『たすのかな ひくのかな』では、たし算とひき算を混ぜて出題し、演算決定の根拠を説明する活動を扱っています。	p.148-149
	▶巻末に『かぞえかた』として助数詞の一覧を掲載し、ものの正確な数え方が身につくようにしました。	p.172-173

観点	留意点	該当箇所
幼保小連携、 他教科との関連	▶幼保小連携の観点から、スタート・カリキュラムに対応させたページ わくわく すたあと を巻頭に用意しました。これによりスムーズに小学校での学習に入っていけるようにしました。	表紙裏-p.17
	▶ わくわく すたあと では学校探検なども扱い、生活科との関連も意識した構成にしました。	表紙裏-p.17
	▶道徳科との関連として、登校時に挨拶をする様子や、倒れたバケツを片付けようとする様子、整列して順番を待つ様子などのイラストを用意し、社会のルールを確認できるようにしました。	p.4, 6, 124など
	▶国語科との関連として、巻末に『かぞえかた』（助数詞の一覧）を掲載しています。また、全体的に専門家の監修を受けています。	p.172-173など
家庭学習・ 自学自習への 対応	▶『保護者の方へ』を巻頭と裏表紙に掲載し、家庭との連携を促しています。	表紙裏、裏表紙
	▶QRコードには、単元に入る前の準備や単元終了時の振り返りができるような参考情報を準備していますので、予習、復習などで家庭でも活用できます。	p.93, 102など
カリキュラム・ マネジメント	▶1年生では単元の長さを細かくし、さらに適宜、『ふくしゅう』を設定して、カリキュラムを柔軟に立てることができるようにしています。	全体
	▶各学期に予備時数を設け、多様なカリキュラムに対応しやすくしました。	
今日的な課題への 対応	▶使用済みの箱やペットボトルなどを利用した活動の提示により、リサイクルを意識し、環境教育にもつながるように配慮しました。また、交通標識を取り上げ、安全教育にもつながるように配慮しました。	p.30, 64, 123など
特別支援・ ユニバーサル デザインへの 対応	▶特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく学習できる環境づくりを目指し、共生社会の形成に向けた インクルーシブ教育(共育) に配慮しています。	全体
	▶温かみのある優しい色遣いで、シンプルなデザインにしました。MUD協会による検証を受けています。	
	▶フォントは識別がしやすい書体(UD書体)を採用しました。	
	▶文章を理解しやすいように、意味改行をしています。	
*デジタル教科書や拡大教科書を用意し、子どもたちの様々な学習のしかたにも対応できるようにしています。		
人権、福祉、国際 理解、ジェンダー	▶子どもの写真やイラストについては、性別による役割を固定することなどなく、互いに協力しながら活動できるよう、言葉遣いや色遣いなどについても十分配慮しました。	p.31, 39, 122-123など 全体
家庭や地域との 連携	▶保護者に向けたメッセージとして、学校や家庭の輪の中で子どもが成長していくことを取り上げます。	裏表紙
プログラミング 学習	▶ プログラミング的な思考 が育めるような内容についてはマークをつけて、意識できるようにしました。	p.127 
ICTの活用	▶紙面に QRコード を掲載し、ICT機器の利用により、学習の助けになる動画・補充問題等の参考情報を参照できるようにしました。単元の入口では、これからの学習へ入る準備ができるような参考情報を、また、単元の出口では、そこで学習した内容の振り返りを補充する情報を用意しています。 *QRコード対応機器以外でもデジタル教材を活用できるように裏表紙に URL を記載しました。	p.2, 10, 93, 102など
印刷・用紙・製本	▶ わくわく すたあと は、書いたり消したりする作業がしやすいように、特別に厚手の紙を使用しています。	p.1-16
	▶開きやすく、紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすい『あじろ綴じ』製本形式を用い、軽くて印刷が鮮明な用紙を採用しました。	全体
	▶再生紙と植物油インキを使用し、環境やアレルギーに配慮しました。	
	▶1年では全体の学習分量を考慮し、また幼保小連携の観点、既習事項を確認しながら新しい学習を進めるという目的から合冊としています。	

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
どきどき がっこう	A(1)ア(ア)㊦1(4)	p.2-7	3
1. かずと すうじ	A(1)ア(ア) (イ)	p.8-17	7
2. なんばんめ	A(1)ア(イ)	p.18-21	3
3. いくつと いくつ	A(1)ア(イ) (エ)	p.22-29	7
4. いろいろな かたち	B(1)ア(ア) (イ)	p.30-35	3
*ふくしゅう	㊦1(2)	p.36-37	1
5. ふえたり へったり	A(2)ア(ア)	p.38-39	1
6. たしざん(1)	A(2)ア(ア) (イ) (ウ)イ(ア)	p.40-47	7
*ふくしゅう	㊦1(2)	p.48-49	1
7. ひきざん(1)	A(2)ア(ア) (イ) (ウ)イ(ア)	p.50-61	10
8. かずしらべ	D(1)ア(ア)イ(ア)	p.62-63	1
*ふくしゅう	㊦1(2)	p.64-65	1
9. 10より おおきい かず	A(1)ア(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) (2)ア(ア) (エ)	p.66-77	8
*ふくしゅう	㊦1(2)	p.78-79	1
10. なんじ なんじはん	C(2)ア(ア)イ(ア)	p.80-81	1
11. おおきさくらべ(1)	C(1)ア(ア) (イ)イ(ア)	p.82-87	5
12. 3つの かずの けいさん	A(2)ア(イ) (ウ) (エ) イ(ア)	p.88-92	4
*ふくしゅう	㊦1(2)	p.93	1
13. たしざん(2)	A(2)ア(ウ)イ(ア)	p.94-103	9
14. かたちづくり	B(1)ア(イ)イ(ア)	p.104-108	5
*ふくしゅう	㊦1(2)	p.109	1
15. ひきざん(2)	A(2)ア(ウ)イ(ア)	p.110-121	11
16. 0の たしざんと ひきざん	A(2)ア(ウ)	p.122-123	2
17. ものと ひとの かず	A(1)ア(イ)イ(ア) (2)ア(ア) (イ)イ(ア)㊦2(1)	p.124-126	3
◎ものの いち	B(1)ア(ウ)㊦2(1)	p.127	1
*ふくしゅう	㊦1(2)	p.128-129	1
18. 大きい かず	A(1)ア(ウ) (オ) (カ) (キ)イ(ア)	p.130-143	13
19. なんじなんぶん	C(2)ア(ア)イ(ア)	p.144-146	2
20. おなじ かずずつ	A(1)ア(ク)	p.147	1
◎たすのかな ひくのかな	A(2)ア(イ)イ(ア)㊦2(1)	p.148-149	1
*ふくしゅう	㊦1(2)	p.150-151	1
21. 100までの かずの けいさん	A(2)ア(エ)	p.152-155	4
22. おおい ほう すくない ほう	A(2)ア(イ)イ(ア)	p.156-157	2
23. 大きさくらべ(2)	C(1)ア(ア)イ(ア)	p.158-159	1
◎かえますか? かえませんか?	㊦2(6)	p.160-161	1
*もう すぐ 2年生	㊦1(2)	p.162-170	3
		標準時数136	計 127
		(予備時数)	(9)

記号の意味:

◎…活用・問題解決のページ

㊦…第3 指導計画の作成と内容の取扱い

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-30	小学校	算数	算数	第1学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 108	わくわくさんすう1		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
154	25+10のけいさん	1	A(2)ア(エ) (簡単な場合について、2位数などについても 加法及び減法ができることを知ることに関連して、 実際の加法の計算を扱います。)	0.25
155	36-10のけいさん	1	A(2)ア(エ) (簡単な場合について、2位数などについても 加法及び減法ができることを知ることに関連して、 実際の減法の計算を扱います。)	0.25
合 計				0.5

(「類型」欄の分類について)

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容